

平成 28 年 4 月 4 日

記者発表

11 月から収穫できる

ごくわ
せ
極早生いちご新品種

「紀の香（きのか）」を育成！



本県のいちごは、施設野菜における栽培面積が第3位と重要な品目です。
農業試験場では、これまで県産ブランドいちご「まりひめ」を育成し、普及に取り組んでいますが、今回、炭そ病に強く極早生の「紀の香（きのか）」を育成し、新品種として登録出願を行いました。

○「紀の香」の特性

項目	特徴
食味	果実の香りは豊かで、糖度は「まりひめ」、「さちのか」と同等。適度な酸味があり、さわやかな食味。
果実の大きさ、色	果実は「さちのか」より大きく、「まりひめ」より小さい。 果色は赤橙色で、比較的硬く、日持ちがよい。
収穫時期、収量	収穫開始時期は11月中旬と早く、年内の収量は「まりひめ」よりも多い。 総収量は「まりひめ」と同等。
炭そ病耐病性	「まりひめ」より強く、「さちのか」と同等。

○今後の予定

品種登録出願申請 → 品種登録出願公表 → 品種登録
平成 28 年 3 月（出願済み） 平成 28 年 9 月（見込み） 平成 30 年 3 月（見込み）

→ 平成 31 年秋 初出荷（見込み）

○関連する事業名

農林水産業競争力アップ技術開発事業
「炭そ病耐病性イチゴオリジナル品種の育成」（平成 24～26 年度）

お問い合わせ先

農業試験場 栽培部 東（あずま）（電話 0736-64-2300）
研究推進室 播磨（はりま）（電話 073-441-2995）

1. 育成の経緯

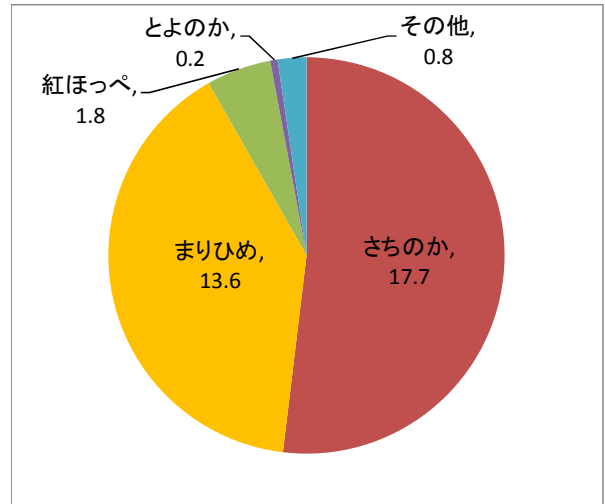
(1) 産地の課題

「まりひめ」

- ・和歌山のブランドいちごで、国内トップレベルの果実品質
- ・収量性、市場評価ともに高いが、炭そ病に弱い

「さちのか」

- ・果実品質は高いが晩生
- ・年内収量が少ない



和歌山県内いちご品種別作付面積 (ha)

※平成 27 年県イチゴ生産出荷組合の作付状況

(2) 新品種の育種目標

- ① 高い果実品質
- ② 炭そ病に強い
- ③ 房が連続して発生する

(3) 「紀の香」の育成経過 (農林水産業競争力アップ技術開発事業)

平成 24 年：「かおり野」×「こいのか」など 6 とおりの交配で 9,654 個体の実生を得る



平成 24 年～26 年：1～3 次選抜で 3 系統を選抜

(果実品質、炭そ病耐病性、早晩性、収量性などを調査)



平成 27 年：県内 6 カ所 (伊都、那賀×2 カ所、有田、日高、西牟婁) で現地試験



「紀の香」を最終選抜

2. 「紀の香」の特性並びに主要品種との比較

項目	紀の香	主要品種との比較
果実の大きさ	17g前後	まりひめ>紀の香>さちのか
収穫開始時期	11月中旬	紀の香>まりひめ>さちのか
年内収量	140g/株	紀の香>まりひめ>さちのか
糖度	8.5～11度	まりひめ≥紀の香=さちのか
酸含量	0.45～0.55%	紀の香>さちのか>まりひめ
炭そ病耐病性	「さちのか」と同等	紀の香=さちのか>まりひめ